

## 別表 支部・委員会の活動

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 シンポジウムの開催	茨城	講師を外部または会員に依頼し、登山・山関連や海外登山などに関する講演を実施。4月、6月、9月、11月、1月の5回実施した。一般参加者は年間44名
	栃木	第10回「山」の講演会：11月27日栃木県青年会館（コンセーレ）で創立10周年記念式典後開催。一般参加者約40名、来賓・支部会員47名など約90名参加した。 演題『21年ぶりのヒマラヤ登山'ーナンガマリⅡ峰(6209m)初登頂ー（探検的ヒマラヤ登山のすすめ）』講師 重廣恒夫氏 9月27日栃木県青年会館（コンセーレ）で実施。一般22名・支部会員18名が参加した。演題『赤道直下エクアドルの山々～赤道直下の氷河の山を映像で紹介～』エクアドルの高所登山家パトリシオ・ティサレマ氏を講師に迎え、映像を交えた講演を行った。
	東京多摩	7月20日「火山と安全登山講演会」（福岡孝昭講師）一般参加者22名 10月28日「魔の山マッキンリーの咆哮」（大蔵喜福講師）61名参加。（内、一般21名） 11月4日「生物多様性の保全と地域づくり」（日本自然保護協会松井宏宇講師）28名参加。 1月28日「山はすばらしい教室」（高橋清輝講師）142名参加。（内、一般62名） 8月23日、エベレスト日本人最年少記録で登頂を果たし、続いてローツェに登頂を果たした伊藤伴会員の報告会を行った。
	越後	第59回高頭祭：本部・支部会員、一般参加者含め約70名が参加。記念式典後日本山岳会成川隆頭氏より「『山の日』制定までの経緯と各支部における取り組み」と題して記念講演を行った。その後、清掃登山しながら弥彦山頂に移動し、山頂御神廟前で新潟県登山祭に参加、全国「山の日」協議会磯野理事長から「山の日記念行事の全国的盛り上がりについて」の記念講演を行った。
	福井	5月29日（日）「泰澄大師白山開山千三百年記念イベント」開催
	富山	「第8回山岳講演会」平成29年2月22日、富山県民会館401号室で開催、参加者約80名 「県警山岳警備隊の活動状況」 講師：高瀬 洋氏（富山県警山岳警備隊隊長、富山支部会員）
	信濃	中部ブロック交流会に合わせ、御嶽山火山災害についての公開講演会を御嶽山麓の木曾町で開催した。講演は信州大学竹下欣宏准教授「火山の恵みと災害～御嶽山2014年噴火に学ぶ」、木曾町消防防災課征矢徹氏「噴火後の木曾町の取り組み」。 参加者は交流会参加者70名を含む約100名。
	岐阜	山岳講演会11月11日 長良川スポーツプラザで開催。一般聴講者111名 演題「黒部横断2014十字峽を越えて八ッ峰へ」 上田幸雄氏（山岳ガイド） 山岳写真展12/1～12/28 喫茶パウゼ(岐阜市) 81名。 H29/1/6～1/30 香り会館(山口市) 42名
	京都滋賀	山岳文化普及のための講演会を10月（20名参加）、2月（25名参加）に開催した。
	関西	著者と語る会・11月26日大阪府立中央図書館にて「著者と語る会」として沖 允人氏による講演会を実施。
	福岡	「岳人のつどい」山の映画会 平成29年2月5日（日）『思いを運ぶ手紙』上映会とブータン紀行・スライド映画会 太宰府市太宰府館まほろばホールにて開催。参加者：会員28名、一般：63名、合計：91名。
	医療委員会	第26回日本登山医学会シンポジウム 6月 栃木県 登山者に役立つ膝のトラブル・膝痛の対処と予防法 東京都体育館第一会議室 2月 参加者120名、医療委員参加者5名

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7 「山の 日」プロ ジェクト	北海道	祝日「山の日」が施行され初年目であり、記念事業として札幌近郊の山を対象にした家族を含めて実施した。◆場所 小樽市・塩谷丸山◆日時 8月11日 快晴◆参加者 公募で32名 支部会員は事業運営のサポートとして16名
	青森	山の日を記念し、一般公募の親子登山を実施した。日時 平成28年8月11日 場所 十和田八甲田火山地域 大駒ヶ岳(戸来岳) 参加者数 51名
	岩手	8月11日に「811mの山を踏査しよう」をテーマに地方新聞紙上で一般公募、夏油高原の標高811m付近の三角沼や高森(県境塚)登山を実施した。一般参加者11名、支部会員はボランティアで指導者・補助員として7名が参加した。
	宮城	『「山の日」記念 宮城・山形交流登山』6月18日～19日の両日、昨年の禿岳交流登山に続き、山形支部と交流登山を実施した。今年度は、国民の祝日「山の日」施行年であることから、『「山の日」記念宮城・山形支部交流登山(摩耶山)』と冠して実施した。参加者は宮城支部が18名(支部会員:11名・一般:7名)、山形支部が11名の計29名であった。
	茨城	9月11日(日)に山岳3団体が実行委になり、「山の日記念交流ハイキング」を筑波山で実施。一般参加者200名の参加と支部会員21名でハイキングとイベント活動を行った。
	栃木	「栃木県「山の日」制定記念フェスティバル」8月11日は日光だいや川公園での記念行事で『ふるさと「栃木」の山を登ろう!』をキャッチフレーズに、『ふるさと「栃木」の山登山相談所』のブースを設けた。一般来場者約2,000人、支部会員9名がスタッフ参加。8月12日は霧降高原でファミリー登山教室を実施(一般参加者98名)三コースを山岳三団体(栃木支部は隠れ三滝コース(参加者35人))が担当。支部会員10名がスタッフ参加。
	群馬	「ぐんま山フェスタ2016」実行委員会主催、上毛新聞社共催。群馬県庁で8月6～7日の2日間にわたって開催。支部としても岳連、労山とともに共催し、マナスル映画と講演、木暮理太郎展、相談コーナーを開設。支部から講師、スタッフとして13人が参加。一般来場者5500人。 「山の日イベントin谷川岳」谷川岳エコツーリズム推進協議会と共催。8月11日、谷川岳周辺で行われたイベント。山行・講演会など。家族自然観察ツアーを担当したほか、天神尾根親子登山、清水峠越えなどをサポート。
	埼玉	・8月「山の日」施行記念事業を埼玉県岳連と共催で「武甲山記念登山及び講演会&コンサート」並びに「秩父夏休み親子キャンプ」を開催し、総参加者106名(会員14名)。 ・12月忘年山行時、山の清掃活動を実施。併せてチャリティーオークションを行い埼玉県障害者スポーツ協会に寄付する。
	千葉	「山の日」記念山岳映画会と写真展。9月10日に「山の日」を広く知ってもらう目的で、山岳映画鑑賞とスライドによる「千葉の山」写真展を開催した。会場:市川市立図書館内「グリーンスタジオ」一般200名、支部員・会友20名参加。
	東京多摩	「山の日記念フェスタ」開催 「山の日」施行記念イベントとして、8月11日を中心に高尾、奥多摩町で実施。 1.8月7日高尾599ミュージアムと共催で「親子森育ハイキング」実施。44人参加。 2.8月11日おきたま地域振興財団と共催で「奥多摩セラピーウォーキング」実施。26人参加。 3.8月11、13～14日「スケッチ山の絵展」開催。「山の映画会」併催。250人来場。
山梨	山の日記念事業2016 第2回やまなし登山基礎講座:9月8日～12月15日の間、原則毎週木曜日午後2時から3時30分、山梨学院生涯学習センターにおいて連続14回の初級者向け登山講座を実施。一般参加者各26名、うち公開講座(2回)延べ20名参加。支部会員講師12名、補助延べ36名、公開講座外部講師(恵秀彦氏、猪熊隆之氏)2名。同センターとの共催、山梨県「やまなしで過ごす山の日実行委員会」の後援。 国民の祝日「山の日」制定を記念し、甲府市主催8月11日金峰山、10月22日三方分山、山梨県緑化推進機構主催8月26日青木ヶ原樹海、山梨県主催8月28日山の日シンポジウム、10月29日紅葉台～三湖台トレッキングなどを山梨県山岳連盟主管のもと協力支援した。一般参加者(県内外)120名、シンポジウム350名、支部会員延べ35名参加。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7 「山の 日」プロ ジェクト	信濃	第70回ウエストン祭の開催：6月5日上高地において開催。70回の節目であると同時に、第一回山の日記念全国大会の関連事業として位置づけた。前日の徳本峠越記念山行では、こうした経緯から、関係する行政などからも多くの参加者があり総勢300名を数えた。5日の碑前祭での記念講演は日本山岳会元副会長の平林克敏氏。 第一回「山の日」記念全国大会：同大会の実行委員会メンバーとして、8月11日上高地での大会当日、大会のコンシェルジュとして、会場の案内や上高地の自然、山岳などのガイド役を務めた。
	静岡	「山の日記念ハイキング、講演会、写真展」：8月11日、「山の日記念」講演会（野口いずみ先生、写真展）200名超参加。10月16日、「山の日記念ハイキング」
	東海	①夏山フェスター山岳振興の為6月に開催、参加者7100名（50名の支部員が企画・運営に参加） ②森の音楽祭－森に親しみ、山のめぐみに感謝するため、猿投の森の中でオーケストラの演奏を楽しんだ後、自然観察会と登山を楽しんで頂いた。参加者合計509名（内支部員90名が運営に当たった） ③8月11日御在所頂上にて「山の日」啓蒙チラシ及び「安全登山」啓蒙チラシの配布－参加数1000名（支部員25名参加）
	広島	「山の日」制定に向けての「ひろしま『山の日』県民の集い」実行委員会の主要メンバーに、当初から広島支部会員が加わり、官民一体となってひろしま「山の日」県民の集いを実施してきた。第15回のH28年は、広島支部は6/4(土)「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部2.5ha)の保全活動を行い、6/5(日)には北広島会場(13名参加)と東広島会場(36名参加)で初心者向けの登山教室を行った。
	福岡	「夏山フェスタin福岡2016」：5月25日(土)～26日(日)、福岡タワー 主催は夏山フェスタin2016実行委員会6月25日(土)、26日(日) 合計:約3700名来場、セミナー参加者:延べ4100名セミナー講師はJACより田部井淳子、古野淳、井上晋、渡部秀樹、山本正嘉 支部報30号特集「山の日・山への想い」を山の日イベント「夏山フェスタin福岡」などにて配布した。8月11日「山の日」制定記念in福岡登山大会を英彦山、宝満山、風師山の各山で開催した。ふるさとの山清掃ハイク『三日月山・立花山』、日時:12月10日(土)。
	北九州	8月3～9日:「山の日」制定記念イベントとして「山の文化展」を旧門司税関ギャラリーにて開催した。「穂苧康治写真展」、北九州市の山岳写真家「大谷城写真展」。山の日「家族登山」8月11日:風師山～矢筈山 矢筈山にて「スイカ割り」「火おこし体験」、「北九州市政だより」「毎日新聞」で呼びかけ94人(5歳～84歳)の参加となった。
	東九州	「山の日」記念in大分・くじゅう登山大会:「山の日」の趣旨の浸透を図ることを目的に、広く一般登山愛好家などに参加を呼びかけて記念集会を実施。日時:8月11日(木)、場所:久住分かれ避難小屋前広場 参加者:約400名 「ときめき宮崎の山歩きの実施」: ・山の日制定を記念して、一般登山の振興及び自然環境保護・会員との交流を図るため、地元新聞社の後援を得て、5月22日50名で登山を実施(一般23名・会員27名) ・宮崎・鹿児島県・環境省えびの自然保護管事務所主催の山の日制定記念登山及び霧島モンテフェンス2016に後援団体として参加。来場者7,000名
I-8 インターネット	DM委員会	:山岳会からの公告、会務情報をWebsiteにより提供。 :山岳研究事業情報、登山振興事業山岳、環境保全事業 情報の公開、周知。 :登山関係諸公的機関・登山関係団体の情報周知 支援。 :JAC内外とのe-mailシステムの運営維持

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室の実施	北海道	NHK文化教室主催の登山教室に夏・冬のシーズンに指導者を派遣、協力。
	宮城	年2回、第3回（5月22日：仙台カゴ）と第4回（11月27日：オボコンベ山）で実施した。一般参加者は5月22日（13名）、11月27日（14名）。山行中に日本山岳会及び支部友会についての啓発活動を行った。サポーターとして参加した支部会員及び支部友会会員は次のとおり。第3回（10名・8名）、第4回（4名・6名）。
	埼玉	・6月「ハイキングレスキュー講習会」講師は埼玉県山岳連盟遭難対策委員長の瀬藤氏、12名参加。 ・12月「北岳周辺での登山・山小屋事情と変遷」講師は白根御池小屋管理人の高妻氏、総参加者49名 ・29年1月「どの山でも登山届を出そう、いざという時にあなたを救う」講師は山岳救助隊 飯田副隊長38名 ・29年2月救急救命法講習「登山で事故！さあどうする！」講師は恵氏と渡邊氏
	東京多摩	多摩地域に健全な自立した登山愛好者を育成するとともに、会員として入会促進。3期修了生からは17名の入会者があった。第5期初心者登山教室（4～6月）／受講生30名、第5期初級登山教室（7～3月）／受講生26名。第4期初級登山教室（4～3月）／受講生22名。 支部員は講師・リーダー・サブリーダー・サポーターとして30名がボランティア参加。
	越後	①6月12日・斑尾山～袴岳～赤池、公募参加者20名 ②7月24日・苗場山（小赤沢～苗場山～和田小屋）公募参加者7名 ③8月28日・越後駒ヶ岳（枝折峠から往復）公募参加者11名 ④10月16日・風吹大池（小谷～風吹大池～蓮華温泉）公募参加者28名。毎回、支部会員が登山の基本や山の自然・歴史などを解説、登山の啓蒙・普及に努めている。
	静岡	地域の一般の登山初心者のためのセミナーを静岡県内の低山ハイキングコースにて実施。新聞等で一般募集をして年3回開催 5月15日参加者、会員6名、セミナー生3名。6月12日参加者、会員8名、セミナー生7名。11月27日参加者、会員7名、セミナー生1名（天候不良の為）
	東海	安全で楽しい登山普及の為、中日文化センター、朝日カルチャー教室にて2教室を開講した。それぞれ、前期（4月～9月）と後期（10月～3月）に分けて開講。月1回の講座（座学）と山行。生徒数：累計355名 山行指導員として支部員96名参加。
	関西	・初級者・・・座学3回とクラス毎の実技講習を年9回実施した。 ・中級者・上級者・・・各クラス別に共通の座学2回と年6回の実技講習を実施した。 延べ参加者221名 「安全な登山の普及」を目的に、山登りの初心者から雪山や岩登り等の本格的な登山を目指す方々を一般公募して実施した。
	広島	広島・呉・福山・岩国の4地区で毎月1回開催の「里山ハイキング」・「初級登山講座」・「中級登山講座」4講座、10クラスに支部会員から講師・アシスタント講師を派遣した。（延べ240名） 受講生は、市民 延べ約1,050名が受講した。
	四国	「フラワートレッキング講座」主に愛媛県内においてフラワートレッキング講座を44回実施、参加延べ人は員325人。一般公募した受講生に、安全登山の初歩的技術や植物の知識を現地で講習した。受講生から今年度新たに6人の支部会友が誕生、会友は21人となった。
	熊本	第16回登山教室 五家荘「保口岳」 5月15日（日）を予定していたが、熊本地震による混乱で実施を中止した。 第15回登山教室 南阿蘇 「高森峠～国民休暇村」 9月11日（日）。毎年恒例となった、阿蘇山南外輪の峠をつなぐ自然歩道を歩くシリーズの最終回、マツムシソウ等の花々を楽しむ山歩きで沢山の希望者がある。今回は一般を含め34名となった 市民登山教室（座学） 7月30日（土） 座学 救急法 テーピング実習。地形図の見方を実際の地形を見比べながら勉強する機会とした。 第12回登山研修会「沢登り」藤河内溪谷 8月20日～21日 1泊2日の日程で、大分県藤河内溪谷夏木谷。 21日 ロープワーク等完全確保技術の習得。翌21日は夏木谷遡行～鋸切谷上部 の流れに身を浸して登り、安全な沢登りの初歩を学んだ。参加者 10名
YOUTH CUB	「（初級）登山講習会」毎月、机上及びフィールド実地の登山教室を実施。登山デビュー、はじめての地図読み（春編）、山の生活技術、都心の樹木観察会、安全のための気象講習、山登りの基礎知識、基礎のファーストエイド、基礎のテント設営、基礎のセルフレスキュー、基礎の地図読み講習（秋編）、冬の低山の楽しみ方、スマホGPSの使い方、はじめての雪山デビュー（1）夏山とは違う、ワカンを使って野山を歩く、アイゼンで歩いてみよう、。延べ275名以上参加。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-11 登山指導	北海道	「雪崩講習会」雪崩発生メカニズムから対処法・ビーコン使用によるレスキュー法と雪質調査など理論・実地講習を支部会員・会員以外の技術力向上を目的として実施した。 ◆11月27日(日)札幌市内～総合理論講座 〈実地講習〉 ◆12月14日(水)-5日(木)～十勝岳連峰
	岩手	4月箱ヶ森、9月稲庭岳の2回実施、初心者や地域の愛好者向けに安全な登山の楽しみ方等の普及活動を行った。一般参加者5名、支部会員はボランティアで指導者、補助員として計13名が参加した。
	福島	「フリークライミング教室」 5月28日(土)一般公募による「フリークライミング教室」を実施(3回目)し、安全登山の普及と技術の向上を図った。参加者4人を支部友会員に入会させた。
	群馬	「上州武尊スカイビューウルトラトレイル」 県山岳連盟が主催団体の一つである表記トレイルラン大会に協力。 9月10～12日 定員700人
	山梨	山梨県山岳レインジャー(5月～9月4回実施、山梨県委託の南アルプス他高山動植物調査)
	京都滋賀	安全登山の普及、遭難対策活動を目的に、レスキュー比良に支部員が参加し、活動した。(年32回、65人が参加)主に日曜日登山口にて1～3名で声掛け、安全登山の指導を行った。 6月に登山技術向上のため、人口壁でのクライミングトレーニングを行った。一般参加者5名、支部員・友の会会員24名が参加した。
	山陰	大山冬山パトロール:冬山遭難防止対策として、鳥取県警と合同で大山冬山安全指導の為、冬山パトロールを企画して、一泊二日の日程で会員6名と県警2名で実施する。大山寺～夏道登山道～山頂往復
	広島	広島県内の大学山岳部及び探検部に対する技術支援を12回実施、延べ34名が参加した。
	熊本	第8回冬山登山研修会 九重山群 御池 29年2月5日 2年ぶりに九重の凍結した中岳下の御池を訪ねる登山を一般会員にも呼び掛けて実施したが、積雪はなく、雨の中の登山となった。 参加者 26名
	学生部	第5回クライミング大会、神奈川大学。救助講習会座学(法政大学)、救助講習会(関八州見晴台)
遭対委員会	7月26日に山岳遭難防止セミナー「夏山における安全登山と遭難事例」を開催。講師、埼玉県警山岳救助隊 飯田副隊長。参加者23名。委員4名。 11月29日に山岳遭難防止セミナー「冬山に備えて」を開催。講師は、長野県警察 航空隊 福間救助係長。参加者は42名。委員4名。	
I-12 障がい者支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 協力登山」本年度は8月6日(土)～7日(日)尾瀬御池ロッジに宿泊し、大杉岳ハイキングを実施し、会員5名、ボランティアスタッフ6名自閉症者家族の総勢41名による登山を楽しんだ。
	埼玉	「障がい者とのふれあい登山」 4月24日、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会と共同主催で「第6回ふれあい登山」を実施。越生町の大高取山(376m)に登山。障がい者にとってスポーツの選択の幅を広げる機会になり、また山岳会員にとっては障がい者を理解する機会になっている。参加者は56名(障がい者12名、付添11名、山岳会員28名、協会職員や障害者スポーツ指導員など5名)
	東海	①視聴覚障がい者支援登山の実施-春季5月池田山、参加48名(内37名が支部員他の支援者) 秋季11月多度山、参加48名(内35名の支援者) ②知的障害者支援登山(SON愛知と協働)-4月鈴鹿朝明茶屋にて実施(障がい者11名、家族11名、SONスタッフ12名、支部支援スタッフ35名が参加)
I-14 海外交流事業	宮城	「中華民国山岳協会顧問張玉龍氏一行との交流事業」宮城支部唯一の名誉会員であり台湾稲作発展の恩人と称された平沢亀一郎氏を紹介・展示する記念館を昨年12月に台湾政府が開設した。同氏は中華民国山岳協会の設立にも関わり、生前は宮城支部と同協会との交流も行われていた。記念館の開設を機に途絶えていた交流が張玉龍一行7名の来仙により30年ぶりに復活した。一行は7月24日～7月31日まで在仙し宮城支部との交流・親交を深めた。在仙中には、平沢亀一郎氏ゆかりの「仙台カゴ登山」「東日本大震災被災地視察」、「宮城県庁訪問」、などの案内、招待を支部の有志が手分けして行った。
	東海	立山の国立登山研修所で開催された第10回 日中韓学生交流登山隊の派遣。8月12～19日。日本からの学生参加者8名中2名を派遣。

事業名	支部名	事業内容
I-15 幼稚園児 から中学 生までの 体験登山	北海道	第17回子供サマーキャンプ(自然児学校)事業(詳細は本文に記載)
	宮城	年2回実施、通算第2回目(8月7日:トンガリ山)、第3回目(11月6日:七ツ森・笹倉山)で実施した。参加した親子は第2回は0組、第3回は2組8名だった。サポーターとして参加した支部会員及び支部友会会員は次のとおり。第2回(4名・1名)、第3回(7名・2名)。
	山形	「山の日」制定を機に「学校から見える山」プレゼントを企画し、イラストレーターに依頼して庄内(鶴岡)の金峯山～母狩山の鳥瞰図とパノラマ図を作成してもらった。それに山の名称の由来、地形や植生、登山道の説明等を添え、「少年自然の家」利用の児童たちを中心にプレゼントした。身近な自然への興味関心が、将来山々へと広がっていく事を願っての企画である。県内四地区(庄内、最上、山形、置賜)に分け4年計画での実施を目指している。
	福島	「山の日・親子登山」「山の日」に支部主催の「あだたら山親子登山」を実施、17家族63人が参加。地方紙(福島民報社)と共催、
	栃木	「親子登山教室」(第5回)夏休み期間の7月23～24日に学習院日光光徳小屋及び奥日光山王峠・男体山で実施。 親子12組28名、指導者・補助員として支部会員他10名が参加。 共催:栃木県山岳連盟/後援:栃木県教育委員会・日光市教育委員会・学習院山桜会
	群馬	群馬県山岳連盟主催「チャレンジキッズプロジェクト」に協力。谷川岳・上州武尊山でのスノーシューや沢登り・岩登り体験など。8月のピークハントから3月のスノーシュー体験(予定)まで全2回開催。小中学生とその家族など延べ約40人が参加(人数には3月実施予定を含む)。支部から延べ5人を役員・スタッフとして派遣など
	千葉	児童養護施設、社会福祉法人「晴香園」の課外活動を自然に親しみ、安全に登山する目的で協力、引率した。本年度は初の宿泊体験を実施。年4回実施。5月児童・職員7名支部員5名、7月児童・職員7名支部員7名、12月児童・職員7名支部員8名、2月児童・職員7名支部員13名。 8月11日の「山の日」に伊予ヶ岳で親子県民ハイキングを実施。一般・親子20名が参加。12月11日、「山の日」記念事業として、千葉の山に親子で登り楽しむを知ってもらう目的で実施。茂原市子どもセンターが主催し、千葉支部が協力した。親子15組と一般10名が参加。支部員4名は指導者・補助員として参加
	神奈川	ウェブサイト「親子で楽しむ山登り」の原稿作成に協力し、「親子登山おすすめコース」に掲載する6コース(大野山、弘法山、矢倉山、城山、南郷山、南山)の取材と原稿作成を行った。
	越後	親子登山: 8月11日「山の日」に、妙高・笹ヶ峰「夢の平」で実施した。親または祖父母と子(小学生)を対象としたが、こどもの参加者は1名だった。初めての事業で、準備不足は否めず反省点を次年度に活かしていきたい。
	富山	8月11日の山の日制定記念として富山県朝日町にある「大鷲山」の親子登山を実施した。開会式では、朝日町町長と山岳警備隊員の挨拶のあと標高500mの林道から登山開始して全員元気に頂上に立った。この山は国土地理院の地形図に登山道の記載がないため日本海から頂上までGPSによる測量を同日に行った。(国土地理院と県山岳連盟の共催)
	石川	「白山親子登山教室」事前登山座学研修として7月31日キゴ山にて実施 一般参加者6名。 8月20日21日 白山にて実施 一般参加者6名。 支部員は座学に11名 白山登山に11名が参加した
	東海	親子ふれあい登山-10月2回に分けて鈴鹿の尾高山で実施、参加者は合計220名(内支部員27名が支援のため参加)
	京都滋賀 広島	8月10日、11日に滋賀県マキノキャンプ場で、キャンプの集いを開催した。一般の親子参加者が25名、支部会員参加者が28名、計53名が参加し 広島支部主催のシェアクラブで親子登山「子供とハイキング」を公募し4回実施、延べ88人参加した。
	北九州	「幸幼稚園児・風師山ハイキングサポート」 3月25日:「卒園児サポート」支部より7人参加 園児:34人 保護者31人 5月17日:「年少組園児サポート」支部より8人参加 園児:35人 保護者35人。 5月19日:「年長組園児サポート」支部より8人参加 園児:28人 保護者18人

事業名	支部名	事業内容
	熊本	「山の日協賛親子登山」8月11日(祝)玉名市小岱山 今年初めての事業として、熊本県山岳連盟と共催で県内の登山愛好者に呼び掛けて開催したところ432名の参加者を得て盛大な集まりとなった。支部会員も24人の集り、受付やコースサポートの仕事を県岳連関係者と分担して行った。
	東九州	「第15回青少年体験登山大会」初心者を対象に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に、青少年だけでなく、一般の初心者も対象に募集し、1日日帰り登山を久住山で実施した。国際山岳年(2002年)以来実施してきており、今年で15回目。(参加者支部会員13名・全70名)
	宮崎	「19回こども登山教室」夏休み期間中、公募した小学生31名を会員20名で登山サポート自然体験活動等を7月30日～31日に実施した。小学生31名、会員20名計51名参加。・登山(五日原岳1,058m・諫早市) ・創作活動(ペンダント作り 国立諫早青少年自然の家)
I-16登山道整備	北海道	北海道山岳9団体構成の「北海道山岳交流会」のメンバー持ち回りによる美瑛岳の美瑛富士避難小屋の携帯トイレブースの点検・清掃・アンケート調査の2年目の事業に参加した。◆8月2日(火)～3日(水) 3名 参加
	青森	「八甲田山遭難防止対策スキーコースの立上り」2月と3月に実施 山岳ガイドや地域山岳会会員等60名参加。八甲田山スキーコースに地域関係者と共に遭難防止用の誘導竹竿を設置した。さらに7月から9月の期間に八甲田山登山道の整備を実施。一般参加者延べ170名。
	岩手	環境保全パトロールの実施5月、6月、9月の年3回実施、遠野三山の一つ、六角牛山を中心に平成29年度東北・北海道地区集会の登山会場の下見を兼ねて登山路のパトロールを実施した。支部会員はボランティアで指導者・パトロール員として計21名参加した。
	秋田	「勝軍山案内板設置」5月21日に実施した。支部会員13名。会員外5名の参加。林道から参道への入り口に案内板を設置した。(支部里山山行を利用した事業)
		「太平山歩道整備」11月5日に実施した。支部会員10名。会員外1名の参加。登山者の安全な登下山を目的とし、コース分岐に標識を設置。同日、コース上の歩道刈り払いを行った。 「太平山山開き清掃登山」6月12日に実施した。対象者数約30名。支部会員13名の参加。太平山県立公園整備促進地域協議会による清掃登山への秋田市からの一般参加者を、他の山岳団体とともに班リーダーやサポートで支援した。
	山形	登山道の整備・8/21 庄内海岸アルプス(仮称)山道の補修、刈払い、整備作業。七名参加。10/16 庄内海岸アルプス(仮称)前回取り残した八森山から由良、八乙女浦迄の山道の刈り払い山道の補強、整備。5名参加。
	福島	6月19日、9月5日の2日間、吾妻山周辺の荒廃した登山道の整備と赤布の表示を実施した。延べ15人が参加。
	栃木	「日光山系清掃登山」を実施。7月3日光湯元キャンプ場・前白根山・奥白根山・弥陀が池・五色山などで清掃を実施。「山の日」の趣旨を広く県民に周知し、山岳環境の保全に努めた。全体参加人数約200名。支部会員5名・会員関係者6名で参加した。共催：栃木県山岳連盟、栃木県勤労者山岳連盟
		「那須岳クリーンキャンペーン」9月5日那須岳周辺で実施。栃木支部は朝日岳・三斗小屋温泉に至る登山道の清掃を行った。全体参加人数121名。支部会員は9名参加した。共催：栃木県山岳連盟、栃木県勤労者山岳連盟
	埼玉	4月高尾グリーンセンター登山道整備
東京多摩	「奥多摩小屋周辺の清掃」10月19日、奥多摩町、東京都水道局などの協働作業として奥多摩小屋周辺のゴミ清掃を行った。奥多摩町、東京都水道局などから約40名が参加。支部員は3名が参加。	
	「雲取山石尾根の石積み登山道整備」6月2～3日、東京都レンジャーとの協働作業として、雪解け後の登山道の石積み整備作業を行った。東京都レンジャー、サポートレンジャーを含めて17名が参加。内、支部員は4名が参加。	

事業名	支部名	事業内容
	越後	公募登山や支部会員親睦登山及び弥彦山・高頭祭で清掃登山を実施した。
	富山	「高頭山登山道整備」播隆祭の記念登山に先立ち5月28日に支部会員9名で登山道整備を行った。下草刈りや倒木除去、看板の修理等を実施。
	石川	「登山道整備活動」行った。奥多摩町、東京都水道局などから約40名が参加。支部員は3名が参加。刈払機やチェーンソーは会員より借用した。山の日制定記念として、「富士写ヶ岳方位盤再建事業」を支援した。 期初準備会より落成式8月7日までに支部員のべ63名参加
	信濃	ウェストン祭に合わせ事前に行政機関と共に徳本峠登山道の状況調査や整備を行った。
	関西	やまみち保全巡視活動を実施。 六甲東お多福山復元化活動に参加。大阪府や各市町村が制定している自然歩道を、各自治体と連携して、道標整備や登山道の補修を行った。
	山陰	大山国立公園協会会員として、登山道の整備、環境対策等に参加
	広島	12/3(土)&4(日)2名で、霧ヶ谷湿原整備(上流から湿原再生の為の水路パイプ設置)を行った。 9/10(土)11(日)に中央分水嶺(聖山分れ～奥匹見峡分岐)の登山道整備を、16+13名参加で実施した。
	北九州	毎年4月に実施している英彦山清掃登山を4月17日に実施した。熊本地震の直後であり参加者は少なかった。 支部会員：28人 合計5団体57人
	熊本	春季・秋季2回の森林保全巡視登山 4月16日は地震災害のため中止。10月16日(金峰山三の岳) 19名参加
	東九州	九重山系の登山ルートを毎年場所を変えての清掃登山実施(雨ヶ池越ルート・参加者11名)
I-17 山岳自然 観察会の 実施	岩手	自然観察会。7月薬師岳・又一ノ滝縦走、10月女神山と滝めぐりの2回実施した。季節ごとの花、紅葉滝の景観等の観察会を企画したが、いずれも天候が悪く目的達成は不十分だった。一般参加者は2名、支部員はボランティアで指導者・補助員として12名が参加した。
	秋田	「自然観察会等への指導やボランティア協力」 太平山自然学習センター、東北森林管理局、太平山観光開発等が主催する登山やハイキング自然観察に秋田支部会員がサポートとして参加した。 5月22日実施、太平山新緑トレッキング 一般参加者20名。5月29日実施、太平山前岳登山 一般参加者20名 7月25日実施、仁別国民の森親子森林教室 親子15組30名。 8月10日実施、太平山奥岳登山 小学4～6年生15名 9月4日実施、八幡平ネイチャーファイリングで八幡平登山 視覚障がい者12名。 9月24日・10月8日・10月22日実施、こども自然体験 太平山リゾート公園内の妙見山登山
	埼玉	・29年1月第6回シンポジウム「埼玉の自然を知ろう」を開催。
	東京多摩	「山の日」施行記念イベントとして、8月11日を中心に高尾、奥多摩町で実施。8月7日高尾599ミュージアムと共催で「親子森育ハイキング」実施。44人参加。 8月11日おくたま地域振興財団と共催で「奥多摩セラピーウォーキング」実施。26人参加。 8月11、13～14日「スケッチ山の絵展」開催。「山の映画会」併催。250人来場。
	東海	愛知県有林「やまじの森」を主体に植生観察会を毎月1回実施 一般参加者延べ190名(内支部員が40名が説明員として参加)
	熊本	毎年恒例となった、阿蘇山南外輪の峠をつなぐ自然歩道を歩くシリーズの最終回、マツムシソウ等の花々を楽しむ山歩きで沢山の希望者がある。今回は一般を含め34名となった
	東九州	スズタケ枯死とシカの食害調査 祖母・傾山系の本谷山西の稜線の定点観測地点において年二回(6月・10月)実施。平成25年度から実施し、3年目の観測となる(参加支部会員6月9名・10月10名)

事業名	支部名	事業内容
Ⅱ-2 山岳図書館の運営及び発刊事業	千葉	「房総半島郡界尾根踏査」継続事業。房総半島の上総と安房の郡境を踏査し、終了後記録集を出版する。4月、11月～3月まで実施。全行程の2/3を終了する。2016年11月11日の読売新聞千葉版に大きく掲載された。参加支部員4月7名、11月12名・7名、12月16名、1月9名、3月。
	神奈川	神奈川山岳誌プロジェクト(仮称)：県内の山と峠282ポイントを抽出し、これらを踏査するために約80のコースを決めた。日本山岳誌の神奈川県版を作成し、情報提供等を通して社会へ貢献する。マスコミに広報するとともに一部の踏査コースは一般公募の山行も実施予定。
	山陰	「雲伯の山々」の発刊準備・調査(古事記など歴史を絡めて紹介する。すべての山名の網羅、大和～出雲間の狼煙ルート調査とその実施)
	図書館委員会	山岳専門図書館としての蔵書の管理と新刊書の収集。新刊書の和書は基本的には著者・出版社からの寄贈。洋書は購入(本年は5冊)蔵書の閲覧者(会員以外)への対応および出版物などの転載手続。会員以外からの問い合わせ・閲覧希望が増加している。メディア(出版・映像・旅行)関係から、出版物(特に『山岳』)の転載依頼が増加。 マナスル60周年&山の日記念イベントでの、蔵書の展示 7月10日
Ⅲ-1 森づくり活動	北海道	支笏湖復興の森づくり。NPO法人支笏湖復興森づくりの会に協力し2007年春から参加の本事業に北海道支部が分担する地域において初夏のアカエゾマツ人工林の下草刈りや秋の生長調査の実施。下草刈り日時28年6月18日 会員5名参加 苗木伸長量調査日時28年10月14日 会員・会友3名参加
	青森	平成11年以来実施している「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して6月と9月の年2回実施。一般参加者併せて、6月19名、9月10名、計29名参加。。下草刈りと植樹したブナの生育状況調査を行った。
	埼玉	11月越生町教育委員会後援による大高取山自然観察会を開催・森づくり及び自然観察会(年3回)
	福井	平成20年より福井県越前町より森づくりのために借りている藪山の整備を進めている。散策路の整備の為に樹木の伐採と苗木の植樹、花壇整備、草取りなど里山の復活を目指す。4月～11月まで月1回森づくりを行う。散策路拡幅等も実施。
	岐阜	岐阜県林政部治山課との協働による「権現の森林づくり」を実施、27年度作業回数は14回(4/10～11/12まで全14回実施 会員・会友・一般参加 123名)①動物による食害防除(ネットの設置)②新設林道からのエスケープルートの設置 ③地生え幼木(ブナ科、カエデ科を中心として)の保護育成を図る)
	東海	「猿投の森づくり活動」①愛知県有林「やまじの森」における保健保安林・土砂流出防護保安林の整備に加え、遊歩道の維持・水土保持・生物多様性などの環境機能の向上を目指した諸作業。②東大演習林での間伐作業。③JAC所有の山桜フィールドでの森づくりと森の恵みを享受できる基地としての諸作業。③JAC所有の山桜フィールドでの森づくりと森の恵みを享受できる基地としての諸作業。年間作業日数：30日、参加人員：延べ600人
	関西	「本山寺山森林づくり」・近畿中国森林管理局長と2015年4月～2020年3月まで5年間の「社会貢献の森協定」を締結した。・保全作業24回・森林調査1回・植樹会2回実施・森林観察会2回実施する。・会員・一般会員合計41名 活動組織の理事会1回及び総会開催。・上記協定に基づき大阪府高槻市の「日本山岳会関西支部本山寺山の森」で活動主体の「本山寺山 森林づくりの会」による森林保全活動を行う。
	北九州	九州森林管理局より受託している20名の巡視員が各山域で巡視活動を実施。 ①6月12日：平尾台(雨天中止) ②9月11日：平尾台11人参加一斉巡視を実施した。
	熊本	水源の森づくりボランティア(熊本市主催だが熊本地震災害のため年内一杯実施困難となり中止)。大船山山頂付近のミヤマキリシマ保護のための支障木除去作業(3名がボランティア参加)
	宮崎	「水源の森づくり」田野の森(宮崎市)、ロキシーヒルの森(西都市)、野尻の森(小林市)総面積1.1ヘクタールに広葉樹2000本を植樹して、毎年3回(7、9、3月)下草払い、枝打ち、補植等の作業を行い、森林の育林・保護活動を実施。そのほか「水源の森づくりをすすめる市民の会」の団体会員としても活動している。28年度は参加者延べ20名で作業。
高尾の森	「日本-ラオス友好の森造成活動」国土緑化推進機構の助成により、ラオス国バンビエン地区で焼畑跡地への植林作業を、及び人工植林地での間伐作業を実施した。	

事業名	支部名	事業内容
Ⅲ—2山岳環境保全活動	北海道	北海道の補助事業「高山植物盗掘防止事業」を受託し、指導員・監視員を派遣協力を実施した。 事業内容 ①研修会28年5月20日、講習場所・参加者 札幌市内エルプラザ 29名出席、研修内容 北海道庁の取組(道庁職員)「山岳地におけるほど梅トイレの整備と協働」(北大愛甲准教授・支部会員)②東・北大雪～大雪山国立公園の官民パトロールに参加③高山植物盗掘パトロール 28年6月1日～10月10日、参加者 会員・会友24名で延104人・日
	山形	7/10 第一回清掃登山。蔵王山系(坊平～刈田～熊野～中丸山～坊平) 会員他七名参加。
	福島	「植生復元作業」 10月22日、吾妻山自然倶楽部主催の「東吾妻山々頂植生復元」に7名が参加した。荒廃が進む山頂までの登山道の土砂流出防護措置と立ち入り禁止柵(ロープ)敷設など実施。
	岐阜	山岳パトロール 岐阜森林管理署内で森林保全巡視、環境美化のため会員のうち登録者が国有林を中心10名。金華山(岐阜市)山麓の小径修復に5名
	東海	①清掃登山(猿投山) - HAT Jとの協働、6月19日、5名参加 ② 猿投山調査活動(看板、植生、危険個所の調査など) 5回実施、参加者延べ35名(赤外線定点カメラ設置) ③ 自然観察山行 -6月春日山～三輪山原始林で実施、参加12名 ③自然観察山行 -長野県大鹿村、リニア新幹線工事がもたらす自然破壊の調査、7月16・17日、9名参加
	京都滋賀	自然保護活動の一環として、比良ダングダ坊遺跡の整備を行った。(年3回実施、延べ18人が参加)
	広島	NPO法人西中国山地自然史研究会との合同事業として、戦後牧場として開拓された原野を、本来の湿原に再生し、鷹などの猛禽類や野生植物の再生を試みている。広島支部はひろしま「山の日」の6/4(土)22名(合計60名)が参加して(4/17(土)は悪天候で中止)、「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部 2.5ha・上流部1ha)の保全活動を行った。
	北九州	森林保全巡視を実施。九州森林管理局より委嘱を受けた巡視員20人が、年間を通じて、夫々の山域でゴミ不法投棄の監視を始めとする巡視活動を行った。①6月12日:平尾台(雨天中止) ②9月11日:平尾台11人参加一斉巡視を実施した。
	熊本	森林保全巡視登山 4月16日は地震災害のため中止。10月16日(金峰山三の岳) 19名参加
	自然保護委員会	公開講演会「シカ研究者がみた最近の日本の山」 11月25日 講師・麻布大学の博物館 高槻成紀氏。参加者21名。 「写真が語る山の自然:山岳写真データベース」 広く山岳会会員や一般から過去の山岳写真を集め、現在の山岳写真とを比べて山の植生や環境がどう変わってきたかを比較できるデータベース。利用者は一般の登山者や研究者。管理運営は自然保護委員会が行った。
他1-1 登山活動指導	北海道	「オホーツク分水嶺踏査」完遂後、知床岬から北方へと続く「環オホーツク分水嶺」を辿る「生態系観察登山」を目指し過去2年(2014年～15年)のロシア極東地域の登山を行い、千島列島の植生など「生態系観察登山」の実現のため、北大との連携による調査研究事業を開始した。2月1日 札幌市内(札幌エルプラザ)、参加者 会員15名 北大教授ほか4名、話題提供者 北大・高橋英樹教授
	青森	会員向け行事として、例会を実施した。参加者は支部会員と家族、知人等も含め、毎回5名から10名程度である。毎年1月に鱒ヶ沢で山岳スキー研修、春と冬は八甲田山に夏と秋は多方面の山域に登山を行っている。
	東京多摩	定例山行/12回実施。120名参加。平日山行/11回実施。120名参加。4月3日新入会員との交歓会で奥多摩登山セラピーロード散策と懇親会。33名参加。南関東ブロック三支部合同懇親山行「御岳山御師の宿に宿泊、大岳山」44名参加。
	東海	①定例・個人山行 一年間約200隊(カナダワディントン山群登山、厳冬期剣岳小窓尾根、ロールワリンカン6600m未踏峰登頂、他) ②合宿訓練 - 岳沢での春季、小川山/剣岳での夏季合宿、八ヶ岳での雪上訓練等 ③東海支部の登山教室を卒業した者、さらなる研鑽を積もうと努力する者を対象とし、支部友だよりを通じ募集・実施一年間36回実施、参加人数はのべ180人。在籍期限は3年、その後は支部に入会するか退会を選択。 会員数は現在55名 ④ 読図山行 一年11回実施

事業名	支部名	事業内容
	宮崎	毎月第1木曜日役員委員長等及び登山研究会を開催した。12回延べ430人 「冬のスキー会、夏の集合登山」 年間の定例登山別途計画に基づき12回実施延べ180名参加
	学生部	部員を対象に登山指導を年間46回実施。述べ参加人員300名程度
	WV部	部員を対象に登山指導を年間12回実施。述べ参加人員150名程度
他1-2文化活動支援	山梨	第57回木暮祭 10月26日金峰山麓、北杜市金山平で実施。一般参加者50名、支部会員15名。当会第3代会長木暮理太郎の遺徳を偲ぶ碑前祭。
	富山	「第31回播隆祭」および「高頭山記念登山」「第31回播隆祭」および「高頭山記念登山」「播隆祭」：播隆上人頭頌碑前にて式典を実施。「記念登山」：式典終了後、高頭山登山を実施。参加25名
	関西	「藤木祭の実施」10月2日 六甲ロックガーデン入口の「藤木九三レリーフ」前にて故人を偲び、登山振興に繋げる祭事を行い記念山行を実施。
	四国	「第4回小島烏水祭」 4月16日(土)高松市峰山公園内の小島烏水頭彰碑前にて、第4回小島烏水祭を開催した。
	熊本	第6回山の写真展 12月3日～18日 恒例となった会員が撮った山の写真展が今回も山の店「シェルパ」で開催した。今回は15名の会員から42点の出品があり、会場狭しの感があった。鑑賞客数 およそ400名
	宮崎	第32回宮崎ウエストン祭の実施：11月3日 高千穂町三秀台において開催。参加者約100名(一般30・子供15・日本山岳会員55名(宮崎支部20名参加。))
	図書委員会	図書交換会の開催(於・年次晚餐会) 2016年12月3日 故近藤等名誉会員を偲び、著書・訳書の展示を併設
他1-3年次晚餐会、支部懇談会	総務委員会	平成28年12月3日(土)、京王プラザホテル(東京都新宿区)において開催。 「グッズの製作と販売」 会員からの要望の多い、Tシャツ、バンダナ、帽子、ワッペン、クラブタイ、ソーラーランタン等を製作し販売した。(晚餐会のみで収益108168,円) 「入会検討者のための説明会の開催」日本山岳会に関心を持っている人を対象にHPで呼びかけて説明会を開催した。開催時期:4月・6月8月・10月・2月 参加者:27名 「新入会員オリエンテーションの開催」最近1年間に入会した会員に、日本山岳会について知ってもらうための説明を行い、併せて、本部役員、委員会、同好会関係者等との意見交換・懇親を図った。9月3日(土)104会議室・集会室、出席者:新入会員43名、役員・委員会・同好会等28名 「同好会連絡会の開催」同好会代表者による連絡会を開催した。7月4日(月)104会議室、(出席:28同好会、欠席:1同好会)
	関西	「支部設立80周年事業の総仕上げ」 ・「2016年東ネパール登山隊」を東ネパール北東部カンチェンジュンガ山群に派遣し、10月17日ナンガマリⅡ峰(6209m)に9名が初登頂した。 ・関西支部県境縦走を実施。2014年3月に日本海をスタートし2016年12月熊野灘太平洋まで縦走。
	四国	「自然保護全国集会」7月16日・17日高知市にて自然保護委員会との共催で開催した。テーマは「どうする！山の野生動物との関わり」。16日は高知県立牧野植物園を会場に基調講演と3分科会を実施した。17日は工石山を中心としたフィールドスタディとした。参加者は全国16支部より81名。
他1-6	会報編集	会報「山」のNo.851～No.862を発行した。